

## 一般演題プログラム

9月12日 (金)

### 第1会場

10:00 ~ 11:12

#### [多職種連携]

座長：片山 威 (津山中央病院小児科)  
山口 仁 (おひさまニコニコクリニック)

#### O-01 不眠・抑うつ気分で受診した中学生女兒例 —学校との連携を中心に

○片山 威<sup>1,2)</sup>, 林 貴大<sup>1)</sup>, 友森 あや<sup>1)</sup>, 岡山 良樹<sup>1)</sup>, 林 明日香<sup>1,2)</sup>, 小野 将太<sup>1)</sup>,  
杉本 守治<sup>1,2)</sup>, 梶 俊策<sup>1,2)</sup>, 藤本 佳夫<sup>2)</sup>

1) 津山中央病院小児科, 2) 津山中央クリニック小児科

#### O-02 医療機関に教員が勤務することの有効性と限界について —アセスメントと支援をつなぐ—

○八尾 由江, 山口 仁

おひさまにこにこクリニック

#### O-03 学校におけるゲートキーパー育成の試み —養護教諭との定期事例検討会を通じて—

○武井 仁

医療法人社団碧水会汐ヶ崎病院精神科

#### O-04 一般小児科病棟で長期入院児をみる看護師の意識調査から見えてくる多職種連携

○山田 慎二

まつもと医療センター中信松本病院小児科

#### O-05 多職種連携 (1) いじめのフラッシュバックが遷延し、不登校、摂食障害、リストカットを認めた自閉症スペクトラム障害 (ASD) の男児例

○遠藤 健次, 加藤 敬, 末長美恵子, 富田 和巳

こども心身医療研究所

#### O-06 多職種連携 (2) 職種間連携が患児の心理的成長に役立った事例

○藤原 由妃<sup>1)</sup>, 奥見 裕邦<sup>2)</sup>, 山内 順子<sup>1)</sup>, 富田 和巳<sup>1)</sup>

1) こども心身医療研究所, 2) 近畿大学医学部心療内科

### 第1会場

11:12 ~ 12:00

#### [外来・地域医療関連]

座長：梶原 莊平 (金沢こども医療福祉センター小児科)  
小柳 憲司 (長崎県立こども医療福祉センター小児心療科)

#### O-07 外来で小児科医が行う継続的な個別ペアレント・トレーニング (PT) の有用性について

○上野 良樹

小松市民病院小児科

**O-08 離島における小児心身医療の実践 —システムをどのように作っていくか**

○小柳 憲司

長崎県立こども医療福祉センター小児心療科

**O-09 外来研修プログラムで患者・家族のニーズアセスメント、解釈モデルの聴取を取り上げる有益性の検討**

○永井 章

国立成育医療研究センター病院総合診療部

**O-10 地方会の設立と現状および課題**○梶原 莊平<sup>1)</sup>、藤田 之彦<sup>2)</sup>、氏家 武<sup>3)</sup>、赤坂 徹<sup>4)</sup>、竹中 義人<sup>5)</sup>、河野 政樹<sup>6)</sup>、永光信一郎<sup>7)</sup>

1) 金沢こども医療福祉センター、2) 日本大学医学部医学教育企画・推進室、3) 北海道こども心療内科氏家医院、

4) もりおかこども病院、5) 医療法人たけなかキッズクリニック、6) 広島県立障害者療育支援センターわかば療育園、

7) 久留米大学医学部小児科

**第2会場**

10:00 ~ 11:00

**[不登校1]**

座長：城間 直秀（医療法人愛燦会発達神経クリニックプロップ）

渡部 泰弘（秋田県立医療療育センター小児科）

**O-11 就学前より登園渋りあり就学後も登校渋りが持続していたがその後進級とともに改善した1例**

○藤田 泰幸

埼玉協同病院小児科

**O-12 心理室での印象深い行動が内面理解に有用であった小学3年不登校男児の1例**○港 敏則<sup>1)</sup>、藤林 洋美<sup>1)</sup>、高橋みどり<sup>2)</sup>

1) 公立豊岡病院組合立豊岡病院小児科、2) 同・心理士

**O-13 急性散在性脳脊髄炎の治療後に頭痛が長引き不登校に至った1例**○鈴木 雄一<sup>1)</sup>、古橋 知子<sup>2)</sup>、伊藤奈緒子<sup>1)</sup>、小野 敦史<sup>1)</sup>、陶山 和秀<sup>1)</sup>、加藤 朝子<sup>1)</sup>、細矢 光亮<sup>1)</sup>

1) 福島県立医科大学小児科、2) 福島県立医科大学看護学部家族看護学部部門

**O-14 愛着の世代間伝達がうかがえる不登校児童の母娘面接**

○前田ひろみ、羽場 敏文

はばこどもクリニック

**O-15 心理療法の中で表現された不登校男児の内面の変化**○佐々布亜希子<sup>1)</sup>、岸 和子<sup>2,3)</sup>

1) 島根大学医学部附属病院子どものこころ診療部臨床心理士、2) 同・小児科医師、3) 島根大学小児科

[不登校2]

座長：石谷 暢男（医療法人石谷小児科医院）  
小山 佳紀（こやま小児科）

## O-16 アトピー性皮膚炎の症状と 관련된 不登校の1女児例 —不登校と起立性調節障害ガイドラインを用いて—

○戸口 直美<sup>1,2)</sup>, 秋浦 裕子<sup>2)</sup>, 村上佳津美<sup>2)</sup>

1) 原田内科クリニック小児科, 2) 近畿大学医学部堺病院心身診療科

## O-17 進学を契機に不登校が解消した5症例 —不登校児における進路の重要性について—

古川 春菜, 小山 佳紀

こやま小児科

## O-18 感情表出ができたことにより不登校が改善されたと思われる8歳女児 —一般小児科診療所での心身医療の現状—

○多田依里子, 小山 佳紀

こやま小児科

## O-19 家庭の問題と不登校を主訴として来院した思春期男子例

○藤河 周作<sup>1)</sup>, 元木 靖代<sup>1)</sup>, 高芝 朋子<sup>1)</sup>, 中津 忠則<sup>2)</sup>

1) 徳島赤十字病院精神科臨床心理士, 2) 徳島赤十字病院小児科

O-20 小規模校における不登校に対して多職種が連携してアプローチした症例  
—お母さんは何を感じていたか?—

○白石 裕子

隠岐広域連合立隠岐島前病院小児科

[OD]

座長：梶浦 貢（サンタマリア病院小児科）  
小林 繁一（静岡県立こども病院発達小児科）

## O-21 完璧主義の「自分」との葛藤が強かった起立性調節障害女児との面接

○林 明日香, 片山 威, 林 貴大, 友森 あや, 岡山 良樹, 小野 将太, 杉本 守治,  
梶 俊策, 藤本 佳夫

津山中央病院小児科, 津山中央クリニック小児科

## O-22 悪性リンパ腫寛解後に起立性調節障害が疑われた1例 —小児がん経験者の心身医学的サポートの必要性—

○朝比奈美輝

浜松医科大学小児科

## O-23 起立性調節障害の頻脈へのホルター心電図施行例

○中澤 聡子

神戸通信病院小児科

**O-24 起立困難症例の心身医学的診断には自律神経検査は必須である**

○吉田 誠司, 田中 英高, 玉井 浩  
大阪医科大学附属病院小児科

**O-25 シェロングの起立試験による体位性頻脈症候群診断の妥当性に関する検討**

○柳本 嘉時, 石崎 優子, 加藤久美子, 樋口 隆弘, 小林 穂高, 藤井 由里, 金子 一成  
関西医科大学小児科学講座

**第2会場**

14:00 ~ 15:00

[OD・IBS・身体表現性障害, ほか]

座長：河野 政樹（広島県立障害者支援センターわかば療育園）  
松島 礼子（大阪府済生会吹田病院小児科）

**O-26 起立性調節障害（OD）診療における病診連携の試み**

○松島 礼子  
済生会吹田病院小児科

**O-27 認知行動療法的アプローチが有効であった過敏性腸症候群の1例**

○中村美奈子  
浦岡小児科

**O-28 過敏性腸症候群・心因性頻尿を主訴に来談した10代男性との心理面接過程**

○長谷川智枝  
大阪府立大学心理臨床センター

**O-29 画像からアプローチする小児排便障害の治療の試み —成人排便障害治療の応用—**

○水上 健, 樋口 進  
NHO久里浜医療センター・内視鏡健診センター

**O-30 PCW（Provocative Change Works™）を活用し、著明に改善した身体表現性障害の男児例についての臨床的検討**

○河野 政樹  
広島県立障害者療育支援センターわかば療育園医療科

**第2会場**

15:00 ~ 16:00

[神経・筋・皮膚疾患]

座長：高尾 龍雄（神港園診療所, 京都大学医学部附属病院小児科心療外来）  
永井 章（国立成育医療センター病院総合診療部小児期思春期診療科）

**O-31 心因性歩行障害を認めた症例の治療過程**

○梶原 莊平<sup>1)</sup>, 福島 智子<sup>2)</sup>  
1) 金沢こども医療福祉センター小児科, 2) 同・心理

●

---

O-32 DSM-5の転換性障害と思われる過換気・不随意運動・歩行障害の2例

○高尾 龍雄

神港園診療所, 京都大学医学部附属病院小児科心療外来

O-33 遊戯療法が有効と思われた抜毛症の1例—小学生男子児童の面接過程—

○尾崎 美佳, 藤本 保

医療法人藤本育成会大分こども病院

O-34 偽発作を合併したてんかん患児6例の検討

○桃木恵美子<sup>1)</sup>, 測上 達夫<sup>1)</sup>, 中島 園子<sup>1)</sup>, 遠藤あゆみ<sup>1)</sup>, 荒川千賀子<sup>1)</sup>, 小平隆太郎<sup>1)</sup>,  
藤田 之彦<sup>2)</sup>, 高橋 昌里<sup>1)</sup>, 加藤はるか<sup>3)</sup>, 岩崎 博樹<sup>3)</sup>

1) 日本大学医学部小児科学系小児科学分野, 2) 同・医学教育企画・推進室, 3) 東京都立広尾病院小児科

O-35 吃音を呈する男児へのプレイセラピーと母親に並行面接を実施した1症例

○岡田 信吾, 小山 桂紀

こやま小児科

---

第2会場

16:00～16:48

[虐待, 家族関係]

座長: 新田 初美 (新潟県立吉田病院子どもの心診療科)

細木 瑞穂 (医療法人社団細木小児科)

O-36 長期に渡って性的虐待を受けていた娘に対して, 地域の包括的治療を行っている1症例

○山本 佳恵, 山本 克康

たていわ病院

O-37 成長不良のため虐待が疑われ, 診断・治療に至ったシルバーラッセル症候群の1例—機能低下している家族へのサポート

○細木 瑞穂<sup>1,2)</sup>, 岡田あゆみ<sup>3)</sup>, 池田 政憲<sup>4)</sup>

1) 細木小児科, 2) 福山医療センター小児心療内科, 3) 岡山大学病院小児科, 4) 福山医療センター小児科

O-38 入院生活を機に頭痛や母との関係に変化のみられた1例

○山本 恭子, 関口 一恵, 井口 敏之

星ヶ丘マタニティ病院小児科

O-39 子どもの社会復帰の一方で「家庭崩壊」に至る症例を通して

○山内 順子, 藤原 由妃, 大堀 彰子, 加藤 敬, 富田 和己

こども心身医療研究所

## 第3会場

10:00 ~ 10:48

## [摂食障害 1]

座長：井口 敏之（星ヶ丘マタニティ病院小児科）  
永光信一郎（久留米大学小児科）

## O-40 当院摂食障害関連疾患の予後調査 2013

○井口 敏之, 関口 一恵, 山本 恭子  
星ヶ丘マタニティ病院小児科

## O-41 摂食障害の体重評価について —標準体重比とBMI—

○井口 敏之, 関口 一恵  
星ヶ丘マタニティ病院小児科

## O-42 神経性無食欲症の活動制限について

○鈴木 由紀, 長尾みづほ, 高橋 純也  
独立行政法人国立病院機構三重病院小児科

## O-43 帯状回の抑制系ニューロン (GABA) 活動が, 摂食障害の予後を予測する

○永光信一郎<sup>1)</sup>, 千葉比呂美<sup>1,2)</sup>, 山下裕史朗<sup>1)</sup>, 松石豊次郎<sup>1)</sup>  
1) 久留米大学小児科, 2) 同・神経精神科

## 第3会場

10:48 ~ 12:00

## [発達障害 1]

座長：西嶋加壽代（医療法人上善会にしじまファミリークリニック小児科・心療内科）  
湊崎 和範（独立行政法人国立病院機構広島西医療センター小児科）

## O-44 自己否定感の強い注意欠如多動性障害 (ADHD) の13歳女児の1例報告

○窪田 博道  
厚生連高岡病院小児科

## O-45 注意欠陥多動性障害 (ADHD) の治療中にもやもや病が判明し, 更なる支援が必要であった1例

○板倉 文子, 大野 貴子  
西部島根医療福祉センター脳神経小児科

## O-46 作業療法との連携で母子の支援を行った発達障害の1例

○井幕 充彦  
金沢こども医療福祉センター小児科O-47 22q11.2欠失症候群に認められる発達障害の診断と治療  
—包括的遺伝子プロジェクトにおける児童精神科医の役割—○河野 美帆<sup>1)</sup>, 大下 隆司<sup>1,2)</sup>, 石郷岡 純<sup>1)</sup>  
1) 東京女子医科大学病院神経精神科・心身医療科 (児童精神), 2) 代々木の森診療所

●

---

**O-48 「発達障がい」を抱える子ども達への関わりを考える**

○絹巻 純子<sup>1,2)</sup>, 竹中 義人<sup>1)</sup>

1) 医療法人たけなかキッズクリニック, 2) カウンセリングオフィス神戸同人社

**O-49 SSTを組み込んだプレイセラピーが改善に役立った自閉症スペクトラム障害の1例**

○大澤有紀子<sup>1,2)</sup>, 西嶋加壽代<sup>1)</sup>

1) にしじまファミリークリニック, 2) 帝塚山学院中学校高等学校

---

**第3会場**

13:00 ~ 14:12

**[発達障害2]**

座長：作田 亮一（獨協医科大学越谷病院子どものこころ診療センター）

芳賀 彰子（Dr. HAGA 茶屋町クリニック子どもと家族・女性のための心療内科）

**O-50 多機関・多職種による支援を行った発達障害兄弟例（1）—発達支援を担う小児科医の取り組み**

○金 泰子<sup>1)</sup>, 久下亜樹子<sup>2)</sup>, 新田 雅彦<sup>1)</sup>, 堤 淳<sup>3)</sup>

1) 大阪医科大学附属病院小児科, 2) 同・広域医療連携センター, 3) 同・精神神経科

**O-51 多機関・多職種による支援を行った発達障害兄弟例（2）**

—地域連携による家庭支援を担う精神保健福祉士の取り組み

○久下亜樹子<sup>1)</sup>, 金 泰子<sup>2)</sup>, 新田 雅彦<sup>2)</sup>, 堤 淳<sup>3)</sup>

1) 大阪医科大学附属病院広域医療連携センター, 2) 同・小児科, 3) 同・精神神経科

**O-52 市中こども病院における発達障害診療の現状**

○松岡 剛司<sup>1)</sup>, 城間 直秀<sup>2)</sup>, 識名 節子<sup>2)</sup>

1) 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児神経科・こころ科, 2) 医療法人愛燦会発達神経クリニックブロッブ

**O-53 発達外来受診児の身体症状の検討**

○澤井ちひろ

滋賀医科大学小児科学講座・小児発達支援学講座

**O-54 ASD児のペアレント・トレーニングにおける保護者支援の有効性の検討**

○小池由香里

滋賀医科大学小児科学講座・小児発達支援学講座臨床心理士

**O-55 名張市の発達障害児支援における医療と教育の連携について**

○小林 穂高<sup>1,2)</sup>, 須藤 博明<sup>1)</sup>, 石崎 優子<sup>2)</sup>, 金子 一成<sup>2)</sup>

1) 名張市立病院小児科, 2) 関西医科大学小児発達支援講座

## 第3会場

14:12 ~ 15:24

## [発達障害3]

座長：白石 一浩（宇多野病院小児神経科）  
 淵上 達夫（日本大学医学部小児科学系小児科学分野）

## O-56 できることに焦点をあてる発達障害外来

○白石 一浩  
 宇多野病院小児科

## O-57 高機能自閉症児の療育セラピー

○武藤 安澄, 明本 萌, 辻内 優子  
 ポレポレクリニック

## O-58 ソーシャルスキルトレーニングにおける負のトークンが有効な発達障害児の要因の検討

○笹川 彩<sup>1)</sup>, 高橋 桃子<sup>1)</sup>, 佐藤 菜穂<sup>1)</sup>, 冨尾 則子<sup>2)</sup>, 荒川千賀子<sup>2)</sup>, 小平隆太郎<sup>2)</sup>,  
 淵上 達夫<sup>2)</sup>, 藤田 之彦<sup>3)</sup>, 高橋 昌里<sup>2)</sup>  
 1) 日本大学医学部附属板橋病院小児科心理士, 2) 同・小児科学系小児科学分野,  
 3) 同・医学教育企画・推進室

## O-59 発達相談における母親へのコンサルテーションに関する1考察

一言の遅れを気にして来談した母親へのコンサルテーション

○沖原千菜美<sup>1)</sup>, 吉川 悟<sup>2)</sup>  
 1) 龍谷大学大学院文学研究科臨床心理学専攻博士後期課程, 2) 同・文学部

## O-60 現代の不適切な養育環境による“後天性発達障害”を再考する

○田澤 雄作  
 仙台医療センター小児科

## O-61 小児科医の立場から障害児通所施設（児童発達支援事業）での発達支援を行なっています

○佃 宗紀  
 つくだクリニック, 児童発達支援センターしおん